在宅支援困難事例のご相談について

事例相談について

利用者の生活支援における相談や質問は、地域包括支援センター、長崎市高齢者すこやか支援課などで対応していますが、長崎地域リハビリテーション広域支援センターでも対応させていただいています。

ご相談に際して、下記の相談チェック表と相談表をご利用下さい。

利用者の生活チェック表

※本チェック表は、３ヶ月以上経過された利用者の状態把握や相談時にご利用下さい。

項目	状　　態	チェック
食事の場面	①むせることが多くなった	□
	②食事に時間がかかるようになった	□
	③はしやスプーンを使えなくなった	□
	④食事中に横に傾いたり、椅子から落ちそうになったりする	□
就寝時	①寝返り、起きあがりに時間がかかるようになった	□
	②起きあがりのときによくふらついたり、転倒することもある	□
トイレやオムツで	①尿意がはっきりしなくなってきた	□
	②パンツの上げ下ろしでふらつく	□
	③トイレ移動時にふらつく・・・・手すり（あり・なし）	□
	④夜のトイレは（トイレ・ポータブルトイレ・しびん・おむつ）	□
移動の時	①最近ふらつくようになってきた	□
	②家の中では、伝い歩きや杖で移動している	□
	③階段や段差のあるところで、膝折れなど転びそうになることがある	□
風呂	①転びそうになる・・・・手すり（あり・なし）	□
	②風呂から出られなくなることがある	□
玄関	①転びそうになる・・・・手すり（あり・なし）　椅子（あり・なし）	□
日中の座りきり評価	①日中、テレビを見て座っていることが多い	□
	②自宅では日課がある ・家の施錠　・カーテンの開け閉め　・新聞取り ・郵便取り　・庭の手入れ　・炊事 ・洗濯　・掃除　・散歩 ・その他（　　）	□

相談したい主な事項をチェックして下さい。

□寝返り・起き上がり等起居動作困難　□転倒　□歩行困難　□むせ・嚥下障害

□高次脳機能障害・失語症　□介護負担の増加　□福祉用具　□住宅改修

その他具体的な相談内容がありましたらお書き下さい。

※ご相談の際には、本ページを下記へお送り下さい。

長崎地域リハビリテーション広域支援センター　事務局　長崎大学医学部保健学科　担当：　井口　茂

（長崎市坂本１丁目７番１号　　TEL＆FAX　０９５－８１９－７９６２

MAIL　　shigeru@nagasaki-u.ac.jp ）